

群馬県立玉村高等学校 学校評価一覧表①

(平成22年度版)

(様式1)

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価				
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	自己アンケート等	改善策	自己評価	改善策			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)総合的な学習の時間に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。	i 外部講師の招聘、短期インターンシップ、職場・学校見学会など、生徒が主体的に学習できる取り組みを行う。【教務】	42.9%	D	生徒 78.1%	A	2・3年生は特定時期に集中実施のため、学習していない。そのため、アンケート実施自体に問題があった。	教員A:100% 生徒A:85.2%	A	生徒は職場見学(1学年)、職場体験(2学年)を経験し、自己の勤労観や職業観の醸成に役立った。今後は就業体験の学習成果を進路決定に生かし、コミュニケーション力の育成に繋げたい。
		(2)英語I・IIの少人数制授業、数学I・II(2年)の習熟度別授業、情報A表現基礎・マナーと表現Iのティームワーク(T.T)の授業形態に、生徒の70%が満足している。	i 教育課程委員会を実施し、実情にあった教育課程を検討する。【教務】 ii 生徒についての情報交換や学習内容に関する意見交換を行い、指導形態を工夫している。【教務】	100% 良く+大体出ている	A	生徒 82.9%	A	生徒及び職員の間で高い評価と支持がえられている。学力向上にむけ、継続して取り組みたい。	教員A:100% 生徒T:84.1%	A	本校の特色である、習熟度別学習、少人数指導、T.T等による学習活動で生徒自身のわかる授業を積極的に支援することができた。今後も継続して指導を深め、基礎学力の定着を図りたい。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(3)授業がわかりやすいと感じている生徒が60%以上である。	i 管理職による授業観察を行うとともに、教員相互で授業参観を実施し、魅力ある授業の構築に努める。【教務】 ii 情報交換会及び成績会議を学期毎に開く。【教務】 iii 授業改善に向けた職員研修を行う。【教務】	71.4%	A	生徒 82.8%	A	8割の生徒が授業が分かりやすいと感じているため、個に応じた指導の充実を図りたい。	教員A:85% 生徒T:75%	A	生徒アンケートでは良い評価を得たが、さらなる職員の授業改善や指導力の向上を目指して、教科指導及び校内研修の充実を図りたい。
		(4)読書指導により、学校図書館における年間貸出数が一平均10冊以上である。	i 朝の読書活動を推進する。【教務】 ii 朝の読書推進委員会を開き、朝の読書の改善・充実について定期的に図書館通信(ライブラリー)を発行して、書籍の紹介等を行う。【保健施設】 iv 読みたい本を積極的に揃える。【保健施設】	4,68冊 (4/1~8/31)	B	---	B	「朝の読書」の指導をより充実させることにより、生徒の読書に対する意欲関心を高めたい。	7,4冊 (4/1~1/31)	D	広報誌「ライブラリー」をさらに充実させるとともに、魅力ある図書館づくりを図り、生徒の読書意欲を喚起する。
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(5)学期末の成績において、各教科の平均点60点以上である。	i 授業改善を推進する。【教務】 ii 放課後の補習や課題の指示を積極的に行う。【教務】	各教科 80.7% 各学年全体 100%	B	---	B	8割の生徒が授業が分かりやすいと感じているため、個に応じた指導の充実を図りたい。	68/86教科(60点以上) 79.06%(2学期末)	B	成績不振な生徒や理解の遅い生徒に対して、事前指導や学び直しの機会を提示して、計画的な学習指導をきめ細かく実施する。
		(6)各種検定や資格取得を推奨し、のべ400人の生徒が検定等に挑戦し、50%以上の合格率である。	i 日本語能力検定・実用英語技能検定・家庭科技術検定・全商7-70検定・情報処理検定などの検定試験を校内で行う。【教務】	受験総数2222名 合格者数1422名 合格率 64%	B	---	B	資格取得への関心が徐々に高まっているため、補習や個別指導の機会を増やし、上級レベルの検定・資格に挑戦させたい。	受験総数431名 合格者数245名 合格率 56.8%	B	生徒の受験者数は増加したが、資格取得や検定試験への取り組みがやや甘い。(生徒77人)次年度は身近で具体的な目標を設定し、学年単位で意欲を喚起させたい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(7)人の痛みがわかる生徒を育成するため、人権やいじめに関するアンケートを年1回実施する。	i 集団生活のマナーや他者への思いやりを高めるアンケートの実施を行う。【教務・生指】 ii 始業式・終業式に必ず人権に関する話題を取り上げる。【生指】 iii LHRの計画の中に「共に生きる」を活用した人権教育を授業を行う。【教務】	二学期実施 (予定)	B	---	B	昨年のアンケートをベースに内容を検討し、生徒の実態把握に努めたい。	予定通り実施	B	今回は県の指示を受けて「いじめ」を主としたアンケートになった。今後は学校の実態にあった調査内容を検討し、実施把握に努めていく。
		(8)朝の玄関指導を1学期に60日・2学期に70日・3学期に50日以上実施する。	i 玄関指導の重要性を理解し、継続して実施する。【生指】	継続実施	B	---	B	計画通り実施	予定通り実施	B	本校の生徒指導の特色として、組織的で計画的な指導を推進したい。
	5 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	(9)保健教育を目的とした花いっぱい運動を1・2学期に1回ずつ実施する。	i 生徒会の組織を中心に参加生徒の呼びかけを行う。【保健施設】	5/21・10/8 (予定)	B	予定通り	B	計画通り実施	予定通り実施	B	職員があまり苦勞をせず実施できるようにできてきている。生徒の主体性を引き出し、さらに良い活動に育てたい。
		(10)1日の遅刻率を4%以下にする。	i 遅刻時の家庭連絡の徹底【学年】 ii 遅刻・欠席クラブの作成を通じて、指導の機会を増やす。【生指・学年】 iii 学年指導や出席改善保護者会の開催から、生徒への反省と改善を支援する。【学年・生指】	4月~8月 2,76	A	保護者 96.7%	A	遅刻率、欠席率とも改善されてきている。継続して指導を実施。	4月~2月 3,5	A	遅刻率、欠席率ともに改善がみられた。遅刻常習者等の指導を工夫し、さらなる改善を目指したい。 出席改善保護者会の効果より高めるために、分掌を越えての改善策を検討したい。
	6 計画的な指導を行っていますか。	(11)職員室に入室する際に服装を直し、挨拶できる生徒が80%以上である。	i LHRにおけるマナー指導の実施【学年】 ii 入室時の指導の徹底【生指】	66.7%	D	---	D	職員が要求するレベルまでできていない。要検討	教員A:80% 生徒T:90% 保護者T:94%	A	まだまだ不十分な生徒もいるが、気を遣っている生徒が多くなっていると思う。生徒に自覚を持たせ、さらなる向上を図りたい。
		(12)学校周辺美化活動(校外美化活動を含む)を学期に1回以上実施する。	i 各学年の行事として年1回実施する。【学年】 ii 河川敷の清掃を実施する。【保健施設】	継続実施	B	保護者 97.8%	A	計画通り実施。	予定通り実施 保護者T:97%	B	全校生徒または、各学年の美化活動について、生徒にその趣旨をよく理解させ、意欲的活動を育てたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な支援をしていますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(13)キャリア教育につながるよう、外部機関や外部人材を活用した進路行事を各学年とも年4回は実施する。	i 総合・LHRの時間を利用して、在り方生き方の指導や職業観の育成につながる講演会や学習会を実践する。【学年・進路】	良好	A	---	A	年間計画通り実施している。	良好	A	ガイダンス等を各学年4回以上実施し、生徒の進路意識の育成に役立った。今後はより効果的なガイダンスが実施できるように外部の団体と連携し研究する。
		(14)進路通信を定期的に発行する。(発行予定12回)	i 実情に即した進路情報提供と意識啓発を目的とした「進路通信」を毎月発行する。【進路】	継続実施	B	---	B	計画的に発行している。	継続実施	B	進路通信を定期的に発行し、生徒・保護者の進路意識の向上を図った。今後も最新で正確な情報を提供できるように情報の収集や分析をすすめる。
	8 家庭・地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	(15)学校をあげて進路実現を支援していると感じている生徒が60%以上である。	i 効果的な進路情報の提供と生徒の進路課題の共有化を図る。【進路】 ii 情報交換会や成績会議における情報交換。【教務・学年】 iii 担任による二者面談・三者面談を充実させる。【学年・進路】 iv 進路意識を高めるための進路行事を実施する。【進路】	76.2%	A	---	A	学年で必要としている情報やガイダンスを実施している。	職員T:95% 生徒T:89.1%	A	本校キャリア教育の方針に沿って、各学年と情報交換を密にし、生徒の実態に合った進路行事を計画する。
		(16)進路行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が70%以上である。	i 感想文や自己評価を課し、生徒の意識を高める。【進路・学年】	76.2%	A	---	A	進路行事に問題意識がもてるように指導していく。	教員A:75% 生徒T:78.4%	B	各ガイダンスの目的を生徒に理解させ、事前・事後の指導を充実させて意識の定着を図る。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭・地域社会に積極的な情報発信をしていますか。	(17)学校の教育活動を人々に理解してもらうために「学校公開」を年3回実施する。	i 5月のPTA総会の時に公開授業を実施する。【教務・渉外】 ii 1・2学期に4-アツカールを実施し、玉村町回覧板に掲載するなど、広報活動を行う。【教務】	2回実施	B	保護者 95.6%	A	地域や保護者の参加が増えているので、なお一層の質的向上を目指したい。	予定通り実施	B	保護者の90%が活動を高く評価しているが、保護者の参加が極めて少ないので、実施方法を検討したい。
		(18)中学生に教育活動を理解してもらうため「体験入学」を2回実施する。	i メールによる中学校への連絡とともに、中学校訪問による呼びかけを行う。【教務】 ii Webページに掲載する。【教務】	8/6, 11/13 (予定)	B	---	B	予定通り実施。	予定通り実施	B	本校の教育活動の活性化がよく理解されるように、広報活動を工夫し、定期的にWebページの掲載を更新したい。
		(19)学年保護者会等に参加している保護者が80%以上である。	i 入学式後に1学年の保護者会を実施。【1学年】 ii 1-2学期、進路や卒業準備に關した保護者会の実施。【3学年】 iii 2学期、修学旅行に關した保護者会の実施。【2学年】	継続調査	B	参加率 82.1%	B	積極的に保護者の参加を促すよう十分な情報発信を心がけた。	参加率:70%程度 (保護者アンケートから)	D	保護者アンケートの結果、保護者不参加の割合が29%であった。保護者や地域への情報発信の効果的な方法を組織ぐるみで検討したい。
		(20)学校通信を各学期ごとに発行する。	i 校務委員会が分担し、学期毎に学校通信(よろくご通信)を発行する。【校務】	継続実施	B	保護者 44.0%	D	学校通信が保護者に届き、家庭で興味関心もてるよう検討したい。	計画通り実施	B	定期的な発行がなされても、保護者が目を通していない割合が高いので次年度の課題としたい。

群馬県立玉村高等学校 学校評価一覽表②

(平成22年度版)

(様式2)

羅 針 盤			方 策	達成度		改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		①	②				総合
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1)総合的な学習の時間に、主体的に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。	i 外部講師の招聘、短期インターシップ、職場・学校見学会など、生徒が主体的に学習できる取り組みを行う。【教務】	D	A	A	生徒は職場見学(1学年)、職場体験(2学年)を経験し、自己の勤労観や職業観の醸成に役立った。今後は就業体験の学習成果を進路決定に生かし、コミュニケーションの育成に繋げたい。	就業体験を通じて職業観を養い、日々の学習活動に反映できるよう願いたい。	・ぐんまチャレンジ・ハイスクールで生まれた「教養表現」の学習を通じて、コミュニケーション力を養い、主体的に進路にかかわる意欲や態度を養う。
		(2)英語Ⅰ・Ⅱの少人数制授業、数学Ⅰ・Ⅱ(9年)の習熟度別の授業、情報Ⅰ表現基礎・ペーナーと表現Ⅰの「7-7-7」(T,T)の授業形態に、生徒の70%が満足している。	i 教育課程委員会を実施し、実情にあった教育課程を検討する。【教務】 ii 生徒についての情報交換や学習内容に関する意見交換を行い、指導形態を工夫していく。【教務】	A	A	A	本校の特色である、習熟度別学習、少人数指導、T,T等に学習活動で生徒自身から授業を積極的に発信することができた。今後も継続して指導を深め、基礎学力の定着を図りたい。	生徒にとっては、自分のペースで学習に取り組むことができ、大事な学習環境だと思われま。生徒アンケートでも高い支持を得ている。	・学習環境を整備して、学習状況や家庭学習時間等の調査に基づき、基礎学力の定着と学び直しを推進したい。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	(3)授業がわかりやすいと感じている生徒が60%以上である。	i 管理職による授業観察を行うとともに、教員相互で授業参観を実施し、魅力ある授業の構築に努める。【教務】 ii 情報交換会及び成績会議を学期毎に開く。【教務】 iii 授業改善に向けた職員研修を行う。【教務】	A	A	A	生徒アンケートでは良い評価を得たが、さらなる職員による授業改善や指導力の向上を目指して、教科指導及び校内研修の充実を図りたい。	先生方が熱心に学習指導に取り組み、またきめ細やかな指導で個々の生徒に学習支援されていてとても良い。	・生徒指導部と連携し、授業中の規範意識を養い、学習意欲の醸成から学習時間の確保を図りたい。
		(4)読書指導により、学校図書館における年間貸出数が一人平均10冊以上である。	i 朝の読書活動を推進する。【教務】 ii 朝の読書推進委員会を開き、朝の読書の改善・充実について検討する。【教務】 iii 定期的に図書通信(ライブラリー)を発行して、書籍の紹介を行う。【保健施設】 iv 読みたい本を積極的に揃える。【保健施設】	B	D	C	朝の読書推進委員会にて、読書推進に向けた有効な指導を検討した。また、「朝の読書」に関する生徒アンケートを実施した。	生徒の図書購入のニーズや傾向を調査して、希望図書の購入をしようか、また、読書会の開催や図書館の様々なノウハウを学び、読書活動の活性化に役立ててみたい。	・職員共通認識のもと、「朝の読書」のさらなる活性化を図る。 ・図書の購入希望調査を積極的に行って、生徒の読書意欲を喚起したい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(5)学期末の成績において、各教科の平均点60点以上である。	i 授業改善を推進する。【教務】 ii 授業後の確認や課題の指示を積極的にを行う。【教務】	B	B	B	成績不振な生徒や理解の遅い生徒に対して、事前指導や学び直しの機会を提示して、計画的な学習指導をきめ細かく実施する。	授業中の生徒指導が定着しており、今後も継続して指導して、学力向上や進路決定に繋げてもらいたい。	・調査期間の学習量を増やす工夫改善により、赤点者数の減少を図る。
		(6)各種検定や資格取得を推奨し、のべ400人の生徒が検定等に挑戦し、50%以上の合格率である。	i 日本実業大学協定「実用英語技能検定」家庭科技術検定「全商アソシエイト」検定・情報処理検定などの検定試験を校内で行う。【教務】	B	B	A	生徒の受検者数は増加したが、資格取得や検定試験への取り組みがやや甘い。(生徒アンケート)次年度は身近で具体的な目標を設定し、学年単位で意欲を喚起させたい。	資格取得への挑戦はとても大切だと思う。その点をよく生徒たちに理解させて、レベルアップを図って欲しい。	・資格取得の目的を明確にし、計画的な準備と学年又はクラス全体で意欲的に取り組む雰囲気を作り出す。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(7)人の痛みがわかる生徒を育成するため、人権やいじめに関するアンケートを年1回実施する。	i 集団生活のマナーや他者への思いやりを高めるアンケートの実施を行う。【教務・生指】 ii 始業式・終業式に必ず人権に関する話題を取り上げる。【生指】 iii LHRの計画の中に「共に生きる」を活用した人権教育を授業を行う。【教務】	B	B	B	今回は県の指示を受けて「いじめ」を主としたアンケートになった。今後は学校の実態にあった調査内容を検討し、実態把握に努めていく。	5年前と比べると、生徒の態度がとても良く、落ち着いた。	・生徒のいじめに対する人権意識を日常の学校生活で培い、人間関係の強化とコミュニケーション力を養う。
		(8)朝の玄関指導を1学期に60日・2学期に70日・3学期に50日以上実施する。	i 玄関指導の重要性を理解し、継続して実施する。【生指】	B	B	B	本校の生徒指導の特色として、組織的に計画的な指導を推進したい。	生徒の服装が悪いという印象はあまりなく、生活指導等指導が行き届いている。	・今後も組織的な指導を継続し、ぶれのない生活指導をすすめ、地域社会の信頼に繋げたい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	(9)体操授業を目的とした花いっぱい運動を1・2学期に1回ずつ実施する。	i 生徒会の組織を中心に参加生徒の呼びかけを行う。【保健施設】 ii 定期試験期間を利用し、生徒の参加を促す。【保健施設】	B	B	B	職員があまり苦勞をせずに実施できるようになってきている。生徒の主体性を引き出し、さらに良い活動に育てたい。	生徒会や有志の生徒の協力が得られて、とても素晴らしい活動になっている。	・生徒のいじめに対する人権意識を日常の学校生活で培い、人間関係の強化とコミュニケーション力を養う。
		(10)1日の遅刻率を4%以下にする。	i 遅刻時の家庭連絡の徹底【学年】 ii 遅刻・欠席グラフの作成を通じて、指導の機会を増やす。【生指・学年】 iii 学年指導や出席改善保護者会の開催から、生徒への反省と改善を支援する。【学年・生指】	A	A	A	遅刻率、欠席率ともに改善がみられた。遅刻常習者等の指導を工夫し、さらなる改善を目指したい。 出席改善保護者会の効果をより高めるために、分掌を越えての改善策を検討したい。	生徒のコミュニケーション力が育ち、日頃の生活指導の成果が欠席・遅刻率の減少に結びついている。	・生徒主導の企画を検討して、参加協力者の数を増やし、企画の目的を再確認する機会とする。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な支援をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	(11)職員室に入室する際に服装を直し、挨拶できる生徒が80%以上である。	i LHRにおけるマナー指導の実施【学年】 ii 入室時の指導の徹底【生指】	D	A	B	まだまだ十分な生徒もいるが、気を遣っている生徒が多くなっていると思う。生徒に自覚を持たせ、さらなる向上を図りたい。	指導を受け入れてくれる生徒が多くなり、校内の様子も落ち着いた。	・生徒自らが進んで着こなしや身だしなみについて関心を持ち、規律ある態度を養う。
		(12)学校周辺美化活動(校外美化活動を含む)を学期に1回以上実施する。	i 各学年の行事として年1回実施する。【学年】 ii 河川敷の清掃を実施する。【保健施設】	B	B	B	全校生徒まはら、各学年の美化活動について、生徒にその趣旨をより理解させ、意欲的活動を育てたい。	全校生徒で地域の美化活動に取り組むことは、地域の方々に心げける良い機会になっている。	・継続して活動を引き継ぎ、地域への関心と環境美化に心げける態度を身に付けさせたい。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な支援をしていますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その表現に向けて取り組んでいますか。	(13)キャリア教育につながるよう、外部機関や外部人材を活用した進路行事を各学年とも年4回は実施する。	i 総合・LHRの時間を利用して、在り方生き方の指導や職業観の育成につながる講演会や学習会を実施する。【学年・進路】	A	A	A	ガイダンス等を各学年4回以上実施し、生徒の進路意識の育成に役立った。今後は最新で正確な情報を提供できるように外部の団体と連携し研究する。	普通科高校なので就職もたいへんど心配している。そのため中学校側による進路講演会や進路ガイダンスを通じて、進路意識を養って欲しい。	・外部講師の活用と開拓を図り、キャリア教育の推進を図る。
		(14)進路通信を定期的に発行する。(発行予定12回)	i 実情に即した進路情報提供と意識啓蒙を目的とした「進路通信」を毎月発行する。【進路】 ii 効果的な進路情報の提供と生徒の進路課題の共有化を図る。【進路】 iii 効果的な進路情報の提供と生徒の進路課題の共有化を図る。【進路】 iv 進路意識を高めるための進路行事を実施する。【進路】	B	B	A	進路通信を定期的に発行し、生徒・保護者の進路意識の向上を図った。今後は最新で正確な情報を提供できるように情報の収集や分析をすすめる。	進路選択には、保護者への情報発信と啓発活動が重要である。	・生徒や保護者の興味関心に繋がる有意義な情報を提供していきたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(15)学校をあげて進路実現を支援していると感じている生徒が60%以上である。	i 情報交換会や成績会議における情報交換。【教務・学年】 ii 担任による二者面談・三者面談を充実させる。【学年・進路】 iii 進路意識を高めるための進路行事を実施する。【進路】	A	A	A	本校キャリア教育の方針に沿って、各学年と情報交換を密にし、生徒の実態に合った進路行事を計画する。	各学年で必要としている情報や体験学習を通じて、生徒のニーズや実態に応じた進路指導を続けてもらいたい。	・進路実現に必要な意欲と態度を様々な体験学習を通じて身につけ、計画的な進路学習を展開する。
		(16)進路行事に積極的に参加したと自己評価している生徒が70%以上である。	i 感想文や自己評価を課し、生徒の意識を高める。【進路・学年】	A	B	B	各ガイダンスの目的を生徒に理解させ、事前・事後の指導を充実させて意識の定着を図る。	生徒の大学選びや学力向上への取り組みは、生徒本人の希望を大事にして指導されていてたいへん良い。	・進路選択に必要な基本的な知識と情報スキルを生徒に身につけさせ、進んで進路学習に取り組む意欲を育てる。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 開かれた学校づくりに努めていますか。	(17)学校の教育活動を人々に理解してもらうために「学校公開」を年3回実施する。	i 5月のPTA総会の時に公開授業を実施する。【教務・渉外】 ii 2学期にオープンハウスを実施し、玉村町回覧板に掲載するなど、広報活動を行う。【教務】	B	B	B	保護者の90%が活動を高く評価しているが、保護者の参加が極め少ないので、実施方法を検討したい。	保護者への情報発信を通じて、本校の特色や従来からのイメージを払拭して、広報活動の充実をお願いしたい。	・本校の最新情報を発信するとともに、地域の行事参加を生徒に働きかけて、情報の共有を図りたい。
		(18)中学生に教育活動を理解してもらうため「体験入学」を2回実施する。	i メールによる中学校への連絡とともに、中学校訪問による呼びかけを行う。【教務】 ii Webページに掲載する。【教務】	B	B	B	本校の教育活動の活性化より理解されるように、広報活動を工夫し、定期的にWebページの掲載を更新したい。	年々、中学生の一日体験学習の参加者が増えている。そのため中学校側の日程や希望等を調査して、必要な情報提供を心がけてもらいたい。	・中学校の要望や情報をうまくフィードバックさせ、より多くの志願者を集める。 ・オープンスクールの実施形態を見直し、地域の方々の参加を呼びかける。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 学校通信を各学期ごとに発行する。	(19)学年保護者会等に参加している保護者が80%以上である。	i 入学式後に1学年の保護者会を実施。【1学年】 ii 1学期、進路や卒業準備に向けた保護者会の実施。【3学年】 iii 2学期、修学旅行に関する保護者会の実施。【2学年】	B	D	C	保護者アンケートの結果、保護者不参加の割合が29%であった。保護者や地域への情報発信の効果的な方法を組織ぐるみで検討したい。	広報活動は早めに準備し、保護者の理解と協力がえられる態勢づくりをお願いしたい。	・年々保護者の学校行事の参加人数が増えているので、事前の広報活動を充実させて、本校を地域にアピールしていく。
		(20)学校通信を各学期ごとに発行する。	i 校務委員会が分担し、学期毎に学校通信(よろこぶ通信)を発行する。【教務】	B	B	B	定期的な発行がなされても、保護者が目を通していない割合が高いため次年度の課題としたい。	よろこぶ通信の発行を通じて、地域の方々への情報発信の機会を確保し、地域理解と地域連携を取り入れた教育活動を展開して欲しい。	・定期的な通信の発行を通じて、保護者に必要な情報を提供し、本校への理解と協力を得る。